

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	シーク & デストロイ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.525	△RG	0.045	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4 3/4 インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：トータルショック&ウォー

フレアーの幅 インチ

表面加工

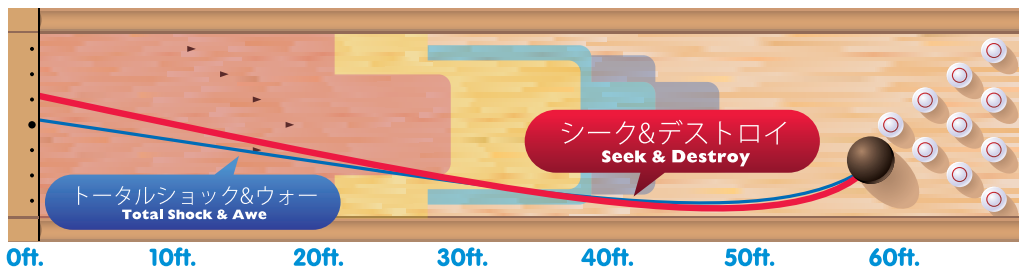
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

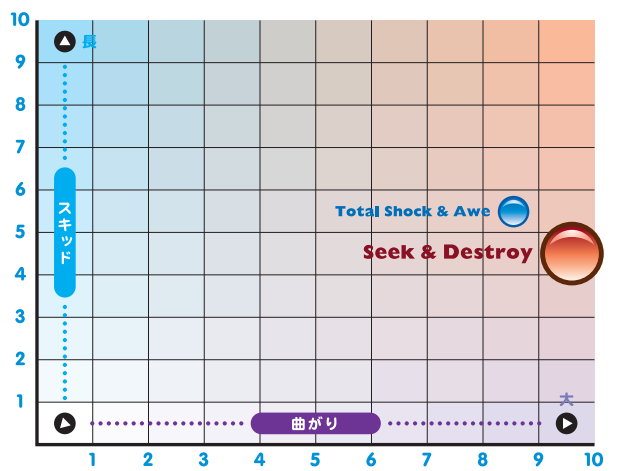
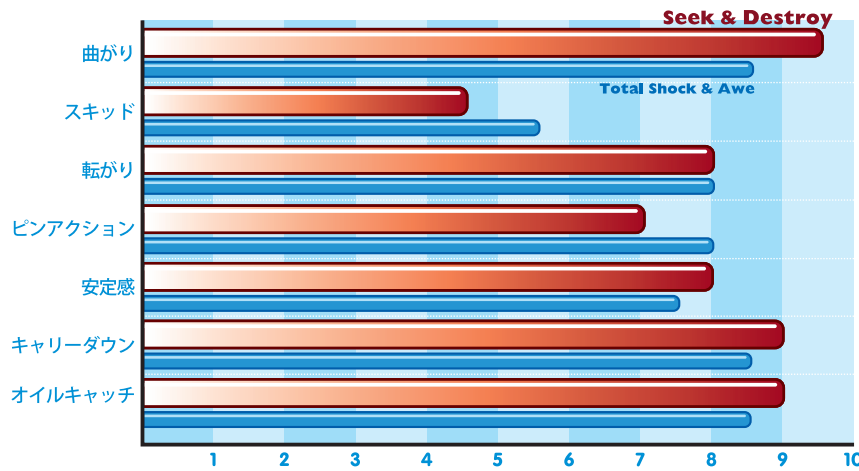
5 1/4 インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

シーク & デストロイは安定したキャッチ力とリアクションを供給できる C4 Enhanced Reactive に Particle を混入し、1200 スムース仕上げも伴いスキッドは短め。軸移動が早く、モーションポテンシャルが大きいバンガードコアの上部に新たにウェイトブロックを搭載し、カバーストックとの組み合わせでモーリッチ社で最もオイルに強くメリハリの効いたボールに仕上がりました。全般的にスキッドが短く、早めに軸移動するスペックの大多数は手前で失速しリアクションがルーズに感じるか、ストロング・アークのイメージが思い浮かびます。しかしこのシーク & デストロイはスキッドも短く軸移動も早ですが、バックエンドリアクションがシャープに角のでる特性が最大の特徴です。オイル上でのしっかりとしたキャッチ力、バックエンドリアクションを含め、曲がり幅も前作のトータルショック & ウォーを凌駕し、オイリーなコンディションで攻撃的なラインを取れるスペックに感じます。またバックエンドでのシャープ感が大きく出して戻すラインも可能にしてくれています。注意しなければいけないのは、同じボールでもコンディションやレーン素材の差等でリアクションのイメージは異なります。必要なのはどのようなコンディションでこのシーク & デストロイを使い、レーン上のどの位置でボールをフック状態に移行させ曲がりを得たいかということを明確に持つべきでしょう。

ドリラーと要相談の上、一番曲がるボールの位置付けで使用して頂きたいボールです。

特記事項

今尚進化し続けるモーリッチ社より、対オイリー用攻撃的スペックの発売です。トータルショック & ウォーでバックエンドの曲がり物足りなさを感じた方は是非お試しください。